



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東
 コード番号 6428 URL https://www.oizumi.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大泉 秀治
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 北村 稔 (TEL) 046(297)2111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,743	5.8	602	150.3	602	152.6	584	720.9
2024年3月期第1四半期	5,429	65.2	240	△27.5	238	△28.8	71	△65.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 570百万円(460.1%) 2024年3月期第1四半期 101百万円(△50.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	25.98	—
2024年3月期第1四半期	3.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	41,413	18,656	45.0
2024年3月期	41,940	18,356	43.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 18,656百万円 2024年3月期 18,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	12.0	12.0
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	12.0	12.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	5.2	1,050	3.3	970	△3.6	610	15.3	27.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	22,500,000株	2024年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,772株	2024年3月期	4,772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	22,495,228株	2024年3月期1Q	22,495,278株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、このところ足踏みもみられるものの、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大の動きにより緩やかに回復する動きとなりました。一方、原材料・エネルギー価格の高騰や円安基調による物価上昇が続く先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの基盤となるアミューズメント事業、成長の中核となる食品・EC事業においては、市場動向を的確に捉え、マーケットニーズに対応すべく競争力のある製商品の企画、開発を進め市場投入に努めてまいりました。

また、安定事業として位置付ける不動産事業、電気事業においては、安定的かつ継続的な収益確保に向け保守、管理の徹底に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,743百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益602百万円（前年同期比152.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益584百万円（前年同期比720.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(食品・EC事業)

食品・EC事業は、人々の健康意識が高まる状況の中、収益確保に向けた付加価値商品の開発をスピーディーに進め、ECサイトでの自社商品の販売強化に努めてまいりました。さらにはECサイトでの販売実績・時代に即した商品開発実績を活用した卸販売の注力や他社の商品を開発・製造するOEM事業の拡大にも取り組んでまいりました。

株式会社下仁田物産では、注力していた認知度の向上、ブランドイメージの浸透を図り、蒟蒻ゼリー市場において台頭する大手企業の戦略に対抗すべく、OEM事業展開を推し進め、相手先ニーズへの柔軟な対応が評価され大手企業との新規取引、海外顧客を獲得致しました。

一方で、販路拡大に伴う供給不足の発生に対応すべく新設工場の開設を進めており、生産能力、生産効率向上を図るとともに、蒟蒻ゼリー市場はもとより100%果汁ゼリー等の生産も着手し、更なる事業拡大に向け販路拡大、増産体制の確立を目指しております。

また、タイミングを見極め、付加価値を付した新商品の開発、市場投入に注力し、収益力、利益率向上を図ってまいりました。

武内製菓株式会社では、主軸事業であるEC事業で得られたオンラインデータ及び卸事業において得られた小売等のオフラインデータを活用したマーケットインの商品開発・製造に注力し、新商品を継続的にリリースしております。市場成長の拡大と合わせて競合参入が増えているプロテインカテゴリでは、原価高騰・円安の影響に対して適切に価格転嫁を実施することで確実な利益確保を目指しつつ、販売強化を続けています。またEC販売だけでなく、オフライン販売も強化しており、卸事業では夏シーズン到来に向けたメンズ向けの脱毛クリームや引き続き市場成長を見せる韓国コスメを中心に売上を創出しています。また、商品開発・製造の強みを活用したOEM事業もプロテイン・脱毛カテゴリを中心に成長を続けております。

バブルスター株式会社では、食物繊維摂取の必要性や腸活の重要性が世間で話題となり、市場成長が続いている中で、スーパー大麦やイヌリン等の食物繊維カテゴリが非常に好調であり、EC販売のみに留まらず、オフラインにおける販路拡大に向けても注力してまいりました。

この結果、食品・EC事業は、当第1四半期は売上高2,324百万円（前年同期比25.5%増）、セグメント利益105百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

(アミューズメント事業)

アミューズメント事業の主要販売先であるパチンコ業界では、レジャーの多様化や少子高齢化・若年層のパチンコ離れにより遊技人口は減少傾向が続き、パチンコホールは集客並びに稼働の低迷により、閉店、廃業の増加、大手法人のM&Aによる企業再編等が行われるなど遊技場の二極化が進みました。一方で、スマート遊技機の市場導入に伴い、低迷していた集客数は増加し稼働も回復傾向に転じ、遊技場の設備更新需要も継続的に拡大いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの周辺機器部門の受注並びに出荷は概ね想定通りに推移いたしました。

また、連結子会社の株式会社高尾が「P弾球黙示録カイジ沼5 超欲望129×87%Ver.」、「Pクイーンズブレイ

ド4 UNLIMITED」を市場投入しました。

この結果、アミューズメント事業は、当第1四半期は売上高2,912百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益330百万円（前年同期比347.6%増）となりました。

（不動産事業）

不動産事業は、より一層の安定的な収益確保に向け、収益性の高い、良質な賃貸物件を継続的に模索しつつ、不動産の保守、管理の徹底に努めてまいりました。また、経営資源の効率的活用及び財務体質の強化を図るため、保有資産の見直しを行い、連結子会社が所有する東京都千代田区内賃貸用不動産を売却いたしました。

この結果、不動産事業は、当第1四半期は売上高218百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益114百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

（電気事業）

電気事業は、継続的安定供給に向け、太陽光発電設備の徹底した保守、管理を実施し、順調に稼働させており、安定した収益を確保いたしました。

この結果、電気事業は、当第1四半期は売上高287百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益181百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（2024年3月31日）に比べ527百万円減少し、41,413百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ912百万円増加し、20,905百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加（662百万円増）、売掛金の増加（289百万円増）、仕掛品の増加（514百万円増）の一方で、電子記録債権の減少（339百万円減）、前渡金の減少（104百万円減）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,439百万円減少し、20,507百万円となりました。これは主に連結子会社所有の賃貸用不動産の売却等に伴う建物及び構築物の減少（441百万円減）及び土地の減少（1,078百万円減）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ827百万円減少し、22,756百万円となりました。これは主に、電子記録債務の減少（148百万円減）、長期借入金の減少（909百万円減）の一方で、支払手形及び買掛金の増加（188百万円増）、流動負債その他に含まれる未払金の増加（116百万円増）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ300百万円増加し、18,656百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（314百万円増）によるものです。

この結果、自己資本比率は45.0%と前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年5月13日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,000,277	8,662,647
受取手形	123,882	123,602
売掛金	1,571,330	1,860,775
電子記録債権	1,809,872	1,470,247
商品及び製品	1,477,709	1,401,259
仕掛品	818,887	1,333,479
原材料	3,381,276	3,296,761
前渡金	2,484,517	2,379,861
その他	327,898	379,353
貸倒引当金	△1,898	△2,010
流動資産合計	19,993,754	20,905,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,986,804	4,545,037
機械装置及び運搬具(純額)	2,112,942	2,040,306
工具、器具及び備品(純額)	201,928	292,723
土地	10,411,053	9,332,205
リース資産(純額)	185,100	179,623
建設仮勘定	63,506	160,273
有形固定資産合計	17,961,335	16,550,170
無形固定資産		
ソフトウェア	69,488	63,112
のれん	2,160,597	2,100,320
その他	17,426	17,018
無形固定資産合計	2,247,512	2,180,450
投資その他の資産		
投資有価証券	432,537	412,559
長期貸付金	1,627,168	1,627,798
繰延税金資産	200,684	236,416
長期前払費用	314,662	314,727
その他	418,745	441,276
貸倒引当金	△1,256,282	△1,256,282
投資その他の資産合計	1,737,515	1,776,496
固定資産合計	21,946,364	20,507,116
資産合計	41,940,118	41,413,096

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,711	1,103,048
電子記録債務	1,275,356	1,126,845
短期借入金	1,902,920	1,902,920
1年内返済予定の長期借入金	3,406,481	3,391,985
リース債務	47,096	44,999
未払法人税等	218,961	161,409
賞与引当金	75,681	98,462
製品保証引当金	8,000	5,000
その他	1,294,809	1,433,103
流動負債合計	9,144,017	9,267,773
固定負債		
長期借入金	12,123,333	11,213,840
リース債務	159,526	155,695
役員退職慰労引当金	400,612	402,076
製品保証引当金	107,200	106,600
退職給付に係る負債	165,511	162,635
長期預り保証金	702,538	666,286
資産除去債務	338,877	339,528
再生債権等	411,679	411,679
繰延税金負債	5,136	5,321
その他	25,653	25,535
固定負債合計	14,440,069	13,489,198
負債合計	23,584,086	22,756,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	16,551,994	16,866,450
自己株式	△4,362	△4,362
株主資本合計	18,228,231	18,542,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,799	113,436
その他の包括利益累計額合計	127,799	113,436
純資産合計	18,356,031	18,656,124
負債純資産合計	41,940,118	41,413,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	5,429,831	5,743,951
売上原価	3,752,299	3,558,214
売上総利益	1,677,532	2,185,736
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	147,952	198,012
荷造運賃	274,687	328,877
販売促進費	285,726	347,122
役員報酬	71,673	62,375
給料手当及び賞与	170,452	186,492
賞与引当金繰入額	23,230	25,826
退職給付費用	3,045	10,375
役員退職慰労引当金繰入額	2,100	1,463
製品保証引当金繰入額	7,000	5,000
貸倒引当金繰入額	△896	112
その他	451,847	417,586
販売費及び一般管理費合計	1,436,821	1,583,244
営業利益	240,710	602,492
営業外収益		
受取利息	2,065	2,362
受取配当金	6,634	7,161
雇用調整助成金	200	—
その他	25,974	18,715
営業外収益合計	34,874	28,239
営業外費用		
支払利息	27,404	23,563
その他	9,543	4,372
営業外費用合計	36,947	27,936
経常利益	238,636	602,795
特別利益		
固定資産売却益	1,797	125,667
その他	790	—
特別利益合計	2,587	125,667
特別損失		
会員権解約損	18,498	—
固定資産除売却損	111	307
特別損失合計	18,610	307
税金等調整前四半期純利益	222,614	728,155
法人税、住民税及び事業税	126,411	172,700
法人税等調整額	25,009	△28,943
法人税等合計	151,420	143,756
四半期純利益	71,193	584,398
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,193	584,398

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	71,193	584,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,582	△14,363
その他の包括利益合計	30,582	△14,363
四半期包括利益	101,776	570,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,776	570,035
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アミューズメント 事業	不動産事業	電気事業	食品・EC事業
売上高				
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,068,033	221,965	286,679	1,853,153
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	7,824	—	2,732
計	3,068,033	229,789	286,679	1,855,886
セグメント利益	73,924	120,481	173,213	169

	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額(注) 2
売上高			
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,429,831	—	5,429,831
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	10,557	△10,557	—
計	5,440,389	△10,557	5,429,831
セグメント利益	367,788	△127,078	240,710

(注) 1 セグメント利益の調整額 △127,078千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アミューズメント 事業	不動産事業	電気事業	食品・EC事業
売上高				
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,912,478	218,947	287,575	2,324,950
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	5,900	—	1,482
計	2,912,478	224,847	287,575	2,326,432
セグメント利益	330,881	114,255	181,570	105,831

	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額(注) 2
売上高			
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,743,951	—	5,743,951
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	7,382	△7,382	—
計	5,751,333	△7,382	5,743,951
セグメント利益	732,539	△130,047	602,492

(注) 1 セグメント利益の調整額 △130,047千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	243,014 千円	156,813 千円
のれんの償却額	60,276 千円	60,276 千円